

継続は大きな力なり ノーゲーム・チョイテレビ運動を通して

活動の名称 ノーゲーム・チョイテレビ運動

団体等の名称 近江八幡市立馬淵小学校

活動に含まれる（連携している）団体等

- 幼稚園 ■ 保育所 ■ 小学校 ■ 中学校 □ 高等学校 □ 中等教育学校 □ 特別支援学校
- 児童館 ■ 公民館 □ 図書館 ■ PTA □ 子育て・教育支援団体、NPO □ 企業・事業所
- 病院・保健所 □ 早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
- 行政（教育委員会） □ 行政（保健・福祉部局） ■ 行政（学区のコミュニティセンター）
- その他（馬淵学区健康推進員）

活動の概要

◆ 活動の目的・趣旨

平成18年度に市内で実施した基本的な生活習慣の調査結果から、本校のテレビやテレビゲーム等の長時間視聴や遅寝の実態が明らかとなり、家庭や地域とともに以下の目的をもって取り組んできた。

- ・メディア浸けになっている子どもの生活を見直し、自分で番組を選んだり、ゲームの時間を決めたりする力を身につける。
- ・家族とのふれあい、家庭学習、読書、運動（外遊び）、手伝いの時間を増やす。
- ・早寝を中心とした生活習慣の改善を行う。

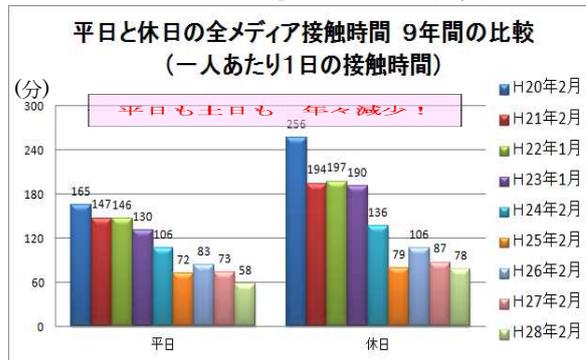
◆ 主な活動内容

平成20年度から「ノーメディア運動」に取り組み、家庭や地域における意識化を図るため、啓発文書の発行、パネルディスカッションの展開、親子で考える標語募集、標語の最優秀作品を立看板にして設置する等の取組により、幅広い人々に周知、啓発を行ってきた。

平成23年度からは、「ノーゲーム・チョイテレビ運動」として取り組み、「ゲームは30分まで。テレビは1時間まで。」とめあてを統一し、毎月、月初めの1週間を実施している。児童に意欲を持たせるため「がんばり賞」（賞状）を渡している。さらに、今年度はこの運動週間に「おうちで読書」日を設定し、家庭での読書を推進している。

◆ 活動の成果と今後の展望

- ・9年間の継続した取組により、メディア接触時間は年々減少している。
- ・期間中は、時間を家族のふれあい、勉強、運動（外遊び）、手伝い、読書等に使い、親からもほめられることが増えてきた。また、家族でふれあう時間を作るようになり、親の意識が高まっている。
- ・「がんばり賞」を目標に、1週間めあてを達成した児童の割合は、平成29年1月では全校の81%となり、がんばろうとする意識が高まっている。また早寝早起きの習慣もついてきた。
- ・市内の養護教諭部会に働きかけ、平成21年度～平成24年度の研究としてノーメディアに取り組み、4年間で学年別の指導案を作り上げ、各校での実践につなげた。
- ・中学校区として本校の取組に学ぼうという動きの中で、今年度から、各小学校区（幼稚園・小学校・こども園）や中学校区では共通の内容で実践し、中学校区として動き出した。



勉強・読書・運動・手伝い・家族との会話などの増加